

健康で豊かな人生を

川崎医福大三田講師が講演



高齢者の健康について講演する
三田講師

高齢者が健康で生き生きと暮らせる社会づくりをテーマにした講演会（NPO法人幸齢社会づくり協会主催）が9日、岡山市北区天神町の岡山県天神山文化プラザで開かれた。病気や障害の有無にかかわらず、豊かな人生を送るための心がけについて、市民ら約250人が考えた。

川崎医療福祉大の三

田岳彦講師が「新しい健康観」について話した。病気の有無や程度に限らず、身体的、精神的、社会的に幸福な状態が「健康」だと定義。「病気があるから」といって、その人が幸福でないというわけではない」と強調した。具体的には、記憶障害がある認知症の80代の女性が切り絵講師を務めた事例を紹介。通

っているデイサービス職員や利用者の理解と協力があって実現できたとした。

一方、新型コロナウイルスの流行時に、感染した70代男性が隔離療養によって幸福度が低下した例にも触れ、「積極的な社会参加が幸福度を高める。周囲と関わりを持つことが大切だ」と話した。

（恒川香花）